

## 4～6月の催し・教室スケジュール

## ▼企画展・イベントなど

- 開催中～5月14日(日)／  
高知県立牧野植物園 第3回 植物園コンクール作品展
- 開催中～6月4日(日)／春らんまん まきの花物語
- 4月22日(土)・23日(日)／えびね展
- 4月24日(月)／牧野富太郎生誕記念「マキノの日」無料開園
- 5月19日(金)～21日(日)／ヤマアジサイ展
- 5月25日(木)～28日(日)／さつきまつり
- 5月中旬～下旬／ガンゼキラン大群落の限定公開  
※開催日は開花状況により決定します。
- 6月9日(金)～11日(日)／サボテンと多肉植物展

## ▼教室

- 4月23日(日)／えびね栽培教室
- 5月21日(日)／ヤマアジサイ栽培教室
- 6月10日(土)／サボテン・多肉植物の育成講座
- 毎月第2水曜日・第4日曜日 10:00～／草花を描く
- 毎月第2水曜日・第4日曜日 13:30～／ふれあい植物観察会

## 【教室・イベントの申込方法】

当園ホームページのイベント・植物教室ページ、またはFaxからお申し込みください。入園窓口でも直接お申し込みいただけます。

- 申込先 ホームページ [www.makino.or.jp](http://www.makino.or.jp) Fax 088-882-8635
- 申込開始日 開催前月の第1水曜日 9:00～(先着受付順)  
※6月開催分は第2水曜日 9:00～

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、今後、企画展・イベント・教室などの日程や内容が変更または中止になる場合があります。最新情報はホームページなどでお知らせしますのでご確認ください。

## Information

## 牧野植物園からのお知らせ

## 「まきのQRガイド」に新機能が続々!

スマホを使った「まきのQRガイド」では、「桜ガイド」を春限定で紹介しています。このQRガイドはスマホのマップに現在地、桜を示すピンク色のピン、それ以外の植物には赤色のピン、イベントスポットは黄色のピン、展示館の情報には書籍のアイコンなど、視覚的にわかりやすくなっていて、近くにどんなおすすめスポットがあるのかが直感的にわかります。虫眼鏡マークを押すと、学名、和名、見ごろ、桜などのキーワード検索もできるようになりました。この夏にはおすすめコースを表示できる機能を追加する予定です。進化する「まきのQRガイド」にご注目ください。

(百田みのり)

オレンジ色の丸が現在地、ピンク色のピンが桜スポット、ピンを選択すると内側が黄色になり、左上にサムネイル表示します。



## Shop Information

## ショップからのお知らせ

## ボタニカルショップnonoca

牧野博士が描いた植物図をあしらったオリジナルのクリアファイル。バイカオウレン、ホテイラン、コオロギラン、ジウロウホトトギスの4種類。nonocaのオンラインショップでも販売中。



A4サイズの  
オリジナルクリアファイル  
495円(税込)

## 観光周遊バス「MY遊バス」のご案内

- JR高知駅から牧野植物園までMY遊バスで約30分。
- MY遊バス乗車券を牧野植物園の窓口提示で、入園料が100円引き。
- 料金／[五台山券(JR高知駅→竹林寺前)]  
大人(中学生以上)600円 子ども(小学生)300円
- MY遊バスに関するお問い合わせ  
運行について／とさでん交通(株) Tel 088-833-7171  
乗車券について／(公財)高知県観光コンベンション協会 Tel 088-823-1434

## 高知県立牧野植物園ご利用案内

[開園時間] 9:00～17:00(最終入園16:30)

[休園日] 年末年始(12/27～1/1)

[メンテナンス休園日] R5/5/30、10/30、11/27、R6/1/29

[入園料] 一般730円(高校生以下無料)

団体630円(20名以上)、年間入園券2,930円

※身体障がい者手帳、精神障がい者保健福祉手帳、療育手帳、戦傷病者手帳、被爆者健康手帳所持者と介護者1名および高知市・高知県長寿手帳所持者は無料

## [交通案内]

はりまや橋から車で約20分

高知自動車道「高知IC」から一般道で約20分

高知自動車道「高知JCT」経由、東部自動車道「高知南IC」から約15分

高知龍馬空港から東部自動車道経由で約25分

※道路案内板の「五台山」または「牧野植物園」「竹林寺」を目標してお越しください。

植物園駐車場の混雑が予想されます。【高知新港臨時駐車場+シャトルバス(30分毎運行)】の利用にご協力をお願いいたします[5月14日(日)まで毎日運行]。詳細情報▶



## 高知県立牧野植物園 友の会 会員募集

[特典] ※会員ご本人のみの特典です。

- ①窓口で会員カードを提示していただくと、入園料無料。
  - ②「牧野植物園だより」(年4回発行)や、催し物案内を定期郵送します。
  - ③牧野植物園が主催するイベントや教室に会員価格で参加できます。
  - ④レストラン、ショップ利用時にカード提示で、5%の割引が受けられます。(現金のみ。カフェでは適用されません。書籍・植物・酒類は割引対象外となります。)
- [会費] 普通会员/年額 4,000円 賛助会員/年額10,000円  
[入会のお申し込み・お問い合わせ] 088-882-0448 友の会担当まで



## 牧野植物園ロゴマーク:バイカオウレンの葉

バイカオウレンは、早春に小さな白い花を咲かせます。高知では春一番を告げる花として、牧野富太郎博士が特に好んだといわれています。晩年東京で暮らした牧野博士にとって故郷を思わせる懐かしい植物でした。

高知県立牧野植物園だより No.92 令和5(2023)年3月31日発行

[編集・発行] 公益財団法人 高知県牧野記念財団

〒781-8125 高知市五台山4200-6 高知県立牧野植物園

Tel 088-882-2601 Fax 088-882-8635

[印刷] 有限会社 西村騰写堂

[www.makino.or.jp](http://www.makino.or.jp)



# 高知 牧野植物園だより



ヤマトグサ [アカネ科]

*Theiligonum japonicum*  
Okubo et Makino

本州(関東以西)・四国・九州に分布する多年生草本。ひとつの個体に花弁のない雌花と雄花がつき、雌花は目立たず、雄花は20～25個ほどの垂れ下がる雄しべが特徴的である。牧野富太郎博士は大久保三郎氏とともに、1889(明治22)年、国内において日本人として初めて新種を認識し、学名を付けて発表した。

News

牧野博士収集の蔵書を鑑賞する  
神木隆之介さん(中央)と  
演出の渡邊良雄氏(右)



# 連続テレビ小説「らんまん」 放送開始!

～牧野富太郎と妻壽衛をモデルとした物語～

牧野富太郎博士がNHKの連続テレビ小説「らんまん」のモデルに決定してから1年が過ぎ、いよいよ4月3日(月)から放送がはじまります。



「らんまん」タイトルロゴ

昨秋には、主人公の榎野万太郎役を演じる神木隆之介さんが牧野植物園を訪れ、牧野博士が94年の生涯で私財を投じて集めた書籍や、植物図、遺品など約6万点を保管する牧野博士の頭脳ともいべき「牧野文庫」を見学されました。

牧野博士が描いた植物図をはじめ、牧野博士が幼少時代から熱読していた宇田川榕菴著の「植学啓原」や、明の時代の李時珍著「本草綱目」などの蔵書、そして、牧野博士と妻壽衛さんがやりとりしていた新婚当時の手紙など、牧野博士の世界観をご覧いただきました。お帰りの際には、私たち職員に対し、らんまんの笑顔で、励ましのお言葉をいただき、神木さんの飾らない優しさに包まれた時間となりました。

同じく昨秋には、「らんまん」の制作統括・松川博敬氏をはじめとする関係者の表敬訪問が行われました。牧野富太郎生誕160年記念事業実行委員会主催の巡回展「拝啓 牧野富太郎さんへの手紙 in 高知県立牧野植物園」の会場に設けた「牧野博士に贈る言葉」コーナーで寄せられた皆さまのメッセージの中から、連続テレビ小説「らんまん」への期待や思いが綴られた200枚を当園から松川氏に託すことができました。

その後「らんまん」の収録が本格的にスタートしたスタジオに、出演者やスタッフの皆さまの目に触れるよう設置をいただきました。

脚本家の長田育恵氏と、音楽家の阿部海太郎氏も牧野植物



松川氏(1列目中央)と広報プロデューサー 藤原敏久氏(右から2番目)、アシスタントプロデューサー 東美恵子氏(右)と記念撮影

園を訪れていただき、牧野博士ゆかりの植物などをご覧になりました。長田氏は、牧野博士への想いに触れ、脚本の中で描かれた万太郎さんが進む道や、これから挑むストーリーへの意気込みを語ってくれました。

連続テレビ小説108作目「らんまん」とともに迎える春本番。榎野万太郎さんと寿恵子さんが駆け抜ける半年間がいよいよはじまります! 牧野博士が94年の生涯で撒いた植物愛というタネは、逝去から半世紀以上が経った今も成長し続け、らんまんときき誇ります。

連続テレビ小説「らんまん」  
公式ホームページ→



左から栽培技術課長濱口、松川氏、阿部氏、解説員藤井、長田氏  
牧野博士ゆかりの植物を掲載する展示館中庭にて

## 「らんまん植物図鑑」

連続テレビ小説「らんまん」では、本編終了後に紹介する植物のイラスト(画像作品)を募集しています。「万太郎ゆかりの植物図鑑」をテーマに、神木隆之介さん演じる榎野万太郎と、植物分類学者 牧野富太郎博士にゆかりの植物の一部を、写真や図で詳しく見ながら、イラストを描き投稿するというもの。手書きはもちろん、パソコンやスマートフォンからそのまま描けるスケッチツールも準備されており、投稿の方法も楽しく簡単です。ぜひ、応募されてはいかがでしょうか。

詳細はホームページをご覧ください。→



(小松加枝)

News

# 2023年春の フラワーイベント開幕!

春「らんまん」の植物園を楽しもう



この時期ならではの花景色がお出迎え

牧野博士がその生涯で愛した植物たちを眺めながら植物園散策を楽しめるフラワーイベント「春らんまん まきの花物語」を、3月25日(土)～6月4日(日)まで開催中です。園内の植物が続々と見ごろを迎えるのとあわせ、眺望抜群のこんこん山広場では赤やオレンジ、黄色など鮮やかな色彩が映える春の草原が登場。五台山の歴史とのゆかりも深い南園では、牧野博士像～50周年記念庭園を中心にサクラ属の園芸品種「仙台屋」、モモの園芸品種など春を代表する花木が咲き揃い、この季節にしか見られない圧巻の花景色が皆さまをお迎えます。

春の散策をさらに楽しくするサイドイベントとして、植物園とお隣の五台山竹林寺に設置された5ヶ所のスポットで順番にスタンプを重ねていけば牧野博士のイラストが現れるオリジナルポストカードが完成する、ユニークな“重ね押し”スタンプラリーも同時開催しています。植物園の本館インフォメーションで配布している台紙を手に、植物園はもちろん、今年開創1300年を迎えた竹林寺まで足を延ばして「五台山の春」をぜひお楽しみください。(片山百合子)

春の植物園散策を  
のんびり楽しもう!

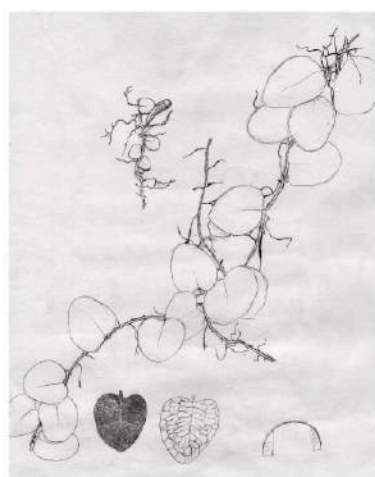


News

# 「植物と友だちになってほしい」 牧野博士の思いをこめて

「第3回 植物図コンクール作品展」開催

会場ようす



牧野富太郎賞 マメツタ 楠山琴韻さん

平成30年から実施している小学5、6年生を対象とした「高知県立牧野植物園 植物図コンクール」は、今年度で3回目を迎えました。今回は、全国から561点もの応募の中から、植物学と美術の専門家による審査を経て、牧野富太郎賞をはじめとする入賞作品6点と学校賞1校、入選作品26点を決定しました。3月4日(土)の授賞式では、作品を描いた子どもたちへ園長から賞状と副賞が贈られ、審査員の一人である邑田仁・東京大学名誉教授からコメントが添えられました。子どもたちからは描くために工夫した点や苦労した点、植物図に込めた思いなどを述べてもらいました。

また、同日オープンした「高知県立牧野植物園 第3回 植物図コンクール作品展」では、入賞・入選作品計32点を一堂に展示しています。子どもたちの力作それぞれからは、植物をじっくり観察し正確に描こうとするようすが目に浮かんでくるようです。会場では子どもたちの作品のすばらしさが伝わるよう工夫をこらし、作品に描かれた植物解説など植物図の描画に必要な観察ポイントも紹介しています。また、牧野博士が描いた植物図やその生涯を写真で迎えるコーナーも設けていますのであわせてご覧ください。(瀬尾明弘)

Report 園地の整備

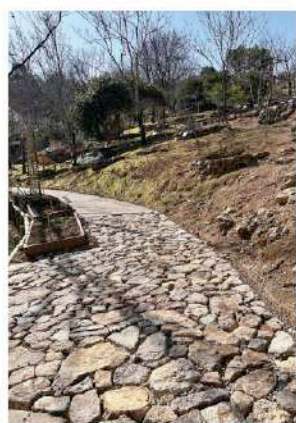
平成11(1999)年のリニューアルオープン時に整備された園路や木製の設備は、24年の歳月が過ぎ老朽化しており、ご不便をおかけしていました。

この度、展示館周辺から南園へ続く連絡道、薬用植物区の三和土舗装、本館ウッドデッキの一部、南園 50周年記念庭園の東屋の屋根の葺き替え、ハスや熱帯スイレンの仲間が植栽されている池の水上観察路の架けかえなどの改修を行いました。

起伏に富んだ園内には直線で作れる場所は少なく、くねくねと曲がった園路が続きます。アスファルト舗装の両端は曲線にこだわり、薬用植物区の園路は水が良く通る場所は石畳、土を模した三和土舗装は植栽区と一体となるような園路となっています。

今後も、皆さまに気持ちのいい空間を楽しんでいただけるように、こだわった園地づくりに努めていきます。

(濱口宗弘)



薬用植物区の石畳は植物園のある五台山と同じチャートを使用し、園地と違和感のない仕上がりに

Report 牧野博士や当園を紹介する展示会が東京で開催

牧野植物園とのコラボ商品として、牧野博士の植物図をあしらった手帳やノートなどを製作してきた株式会社はぼ日が主催する展示会「牧野植物園がやってきた展。」が、2月1日(水)~3月5日(日)に東京・はぼ日曜日(渋谷PARCO)内で開催されました。

会場では当園を紹介するパネルをはじめ、58点もの植物図の複製や、博士が採集した植物標本を撮影した写真家菅原一剛氏の作品などが展示されており、洗練された空間の中で博士の業績に触れられるつくりとなっていました。また関連書籍とグッズの販売コーナーや「Makino original blend tea」を提供するカフェも併設しており、立ち寄った来場者は思い思いのひと時を過ごされていました。

本展示会を通じて、NHKの連続テレビ小説「らんまん」の放送を前に一足早く、普段なかなか高知県に足を運ぶことができない首都圏の方々にも、当園や牧野博士の魅力に触れていただけたのではないかと思います。

(橋本渉)



「牧野植物園がやってきた展。」のエントランス

News 連続テレビ小説「らんまん」放送にあわせてクッキーサンド「花と恋して」発売

牧野富太郎博士をモデルとしたNHKの連続テレビ小説「らんまん」の放送開始にあわせて、株式会社 浜幸より当園との共同企画商品「花と恋して」が3月1日(水)に発売されました。「花と恋して」は、博士の詠んだ「草を擗に木の根を枕、花と恋して九十年」に因んだネーミングとなっており、高知県産ユズの果実入りのクリームを、トウキの葉を使用したクッキーではさんだお菓子です。



株式会社 浜幸の新商品「花と恋して」

使用されているトウキの葉は、当園が小林製薬株式会社や大豊町東豊永集落活動センターと実施している薬用植物の試験栽培で得られたものです。トウキは、根を生薬として使いますが、葉にはセロリに似た香りがあり、食品として利用できます。しかし、通常の生薬生産過程では廃棄される部位であるため、葉の活用は、SDGsにもつながる有意義な取り組みです。高知県産の植物たちが奏でる爽やかな味と香りを感じながら、ドラマ観賞を楽しんでみてはいかがでしょうか。

(白河潤一)

Report ベビーカーと木製ベンチを寄贈いただきました

牧野富太郎博士がモデルのNHKの連続テレビ小説「らんまん」の放送決定以来、大変多くの方から関心が寄せられており、来園者数もますます増えています。放送がはじまると大変な混雑も予想されることから、2団体から来園者のためになる物品の寄贈のお申し出をいただきました。

高知東ライオンズクラブからは、結成40周年記念事業としてベビーカー10台の寄贈が決定し、令和4(2022)年12月22日(木)、森下賢一会長ご出席のもと寄贈式が執り行われました。一般社団法人高知県木材協会からは、高知県産材で製作された木製ベンチ2台を寄贈されることが決まり、小川康夫会長のご出席のもと贈呈式が令和5(2023)年1月23日(月)に執り行われました。

来園者の皆さまが当園でより快適な時間をお過ごしいただけるためのご寄贈に感謝するとともに、今後大切に使用まいります。

(山本利彦)



ベビーカーの寄贈式の様子



木製ベンチの贈呈式の様子

第③回目 翻刻事業

牧野富太郎博士の交流解明に向けて

牧野富太郎博士の蔵書約4万5千冊を収める「牧野文庫」では、牧野博士の研究ノート、原稿、日記や書簡など遺品資料を約1万点収蔵しています。これらの資料は博士の生涯、業績研究においても第一級資料となるもので、これまで明治・大正・昭和期の日記、採集記録などを分析してきました。書簡については未だ解明されておらず、重要な未調査資料となっていました。そのような矢先に博士をモデルにした連続テレビ小説「らんまん」(NHK)の制作が決定し、博士のもとに届いた書簡の翻刻事業「牧野文庫蔵書簡解読」を開始することとなりました。牧野文庫で所蔵する明治期の書簡はくずし字で書かれたものが多く、また書いた人によって文字のくせに違いもあることから、現代の私たちには簡単に読み解くことが難しいものとなっています。こうした書簡をまずは読むことができるよう、県内を中心に文化芸術振興と地域活性化につながる活動に従事する特定非営利活動法人 地域文化計画に翻刻業務を委託し文字起こしをお願いしました。



牧野博士が収集した資料を「牧野文庫」で見学する地域文化計画の皆さん

今回の翻刻では約4千点の書簡のなかから、研究者や植物愛好家を中心に博士の交友関係や一般市民との交流の解明などを目的として選定しました。吉永虎馬氏、織田千齡氏など高知ゆかりの人物、博物館で出会った田中芳男氏のほか、三好学氏、池野成一郎氏など東京大学で知り合った人びとや、地方の研究者の梅村基太郎氏、大上宇一氏など約60人分の書簡が含まれています。



今回翻刻された牧野博士宛に残された書簡

地域文化計画に所属する6人の翻刻メンバーがチームを組み、このほど約350点の翻刻作業が完了しました。メンバーの一人である小林和香氏からは、作業を振り返り、「くずし字には、その人となりの特徴があり、特に明治以降の人物の書簡は難しかったが、牧野博士を慕って、全国各地から標本が送られてきたり、教を請う手紙に触れることができ、大変貴重な機会であり難しかった」とお言葉をいただきました。



左から、地域文化計画の今井章博氏、小林和香氏、影山千夏氏

翻刻した書簡は、同封した植物の同定のお願いや、細かな植物分類の所見の確認、間違いを正してもらった記述へのお礼、博士が送った植物随筆集が到着したことへの喜びを綴ったハガキなど、博士がいかに信頼されていたか伺える内容で、日本の植物相を解明しようと尽力した人々の日常をも垣間見ることができます。

これから当園では、博士の交流解明にむけて書簡の内容を解読し、さらに分析を進め、プライバシーに配慮しつつ牧野富太郎記念館 展示館の「牧野蔵」にて順次公開する予定です。第1弾では「らんまん」の主人公のモデルの博士と壽衛夫人の書簡をご紹介します。1901(明治34)年8月、植物採集のため家を留守にして研究にいそむ博士と、留守宅を守り博士の研究を支える夫人のようすがご覧いただけます。このほかドラマに登場する人物のモデルとなった人たちの書簡もご紹介する予定ですので、ドラマとあわせてお楽しみください。

(村上有美・小松加枝)



壽衛と富太郎の書簡を展示した展示館「牧野蔵」

見ごろの  
花だより

Vol.43  
Flowers in season

## セイシカ

[ツツジ科]

*Rhododendron latoucheae* Franch.

和名をセイシカ、漢字表記では「聖紫花」で、その清楚で美しい花の姿に由来して名付けられました。国内では石垣島と西表島、国外では台湾、中国中南部に分布し、人が立ち入りにくいような溪流沿いの林内に生えるため「幻の花」ともよばれます。

牧野博士はセイシカの精密な植物図を描き、明治33(1900)年に「大日本植物志」に掲載し全国に紹介しました。展示館中庭の陶板や園内にある植物解説パネルのQRから、博士の描いた植物図と実物を見比べることができます。

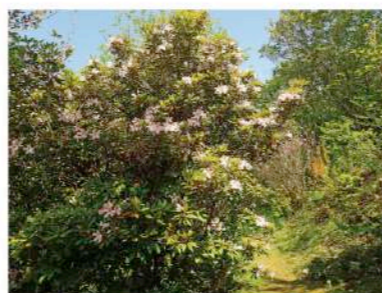
昭和36(1961)年、当時の園長・山脇哲臣氏は高知新聞社主催の琉球列島学術調査団に参加しました。この調査の一番の目的はセイシカであり、その時の記録が残っています。

「モーターつきの舟で仲間川を遡る。・・・(中略)雨溝やら解らな

い急斜面を登る途中、やや風化した大きな砂岩が出ておつて、それに何んと30cm程度の手頃のセイシカの苗が沢山着生しているではないか、宿酔も何も忘れてしまつて、早速とびついて掘り取つてしまつた。」(原文ママ)。

このように西表島の山奥に分け入り採集した株は、現在も南園の結網山中腹にあり樹齢は60年以上になります。展示館中庭や牧野富太郎像周辺にある株はそれを挿し木で増やしたものです。4月中旬に開花を迎えるため、ぜひセイシカを見に植物園へお越しください。(舞田穂波)

結網山中腹にある  
セイシカ



園地のできごと

Vol.43  
The gardening  
section's news

## ふむふむ広場の 魅力アップに向けて



多肉植物のプランターが登場

ふむふむ広場は、植物への興味や関心を育む場所として平成31(2019)年4月にオープンしました。さらなる広場の魅力増進を目指して植栽の追加を継続して進めています。今年度は、「土佐の畑」に新たにクリやビワ、カキノキの栽培品種といった果樹や、県内で工芸品の材料として珍重されているトサトラフダケを植栽しました。高知県の里山の風景が凝縮したような場所になっています。

植物の香りを嗅いだり実際に触れたりすることができる「ふれあいの庭」では、車いす利用者にも目線の高さで植物を観察していただけるように設置した高床式プランターを4基から5基に増設し、「多肉植物」をテーマに植栽しました。新たに背もたれ式ベンチも1基設置しましたので、エリア内をゆっくりと周遊いただけます。今後も新たな植栽や展示方法を模索しながら、来園者の皆さまに楽しんでいただける場所にしていきたく思います。ご期待ください。

(上杉翔)

植物の  
「なぜ?」

Vol.43  
Plants' Q and A

Q | 植物が作り出す酸素ってどこから出ているの?

A | 気孔という場所です。

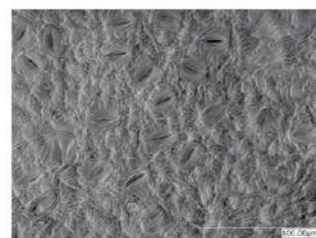
植物は気孔という場所でガス交換をしています。気孔を開くことで、光合成に必要な空気中の二酸化炭素を取り込むことができ、作り出された酸素は外に出ています。ただし、気孔が開いたままだと水も出ていってしまうので、巧みにきちんと開閉するようになっています。植物にとっては生死を左右する大切な器官です。

気孔は1対のソーセージ型の細胞(孔辺細胞)とその周辺の細胞(副細胞)からなり、孔辺細胞が曲がってできるすき間が気孔です。孔辺細胞には葉緑体があって、ここで行われる光合成が気孔の開閉にかかわっているそうです。

では気孔はどこにあるのでしょうか?気孔は葉だけではなく、茎や柄などいろいろなところにあります。また、一般的に葉の表側よりも裏側に多くあります。ただし、例外は水生の植物で、水面に浮かぶ葉などでは気孔は葉の表面にしかありません。

気孔の数は種類や環境によって異なり、長さは百分の一ミリ単位、開く幅は千分の一ミリ単位と非常に小さい器官です。ところが、気孔の場所が目で見える植物があります。身近な種類

ではヒノキがその代表です。ヒノキの葉は枝状になっている全体ではなく、枝をつくっている1個1個の破片です。裏側を見ると葉と葉のつぎ目が白くなっています(Y字型に見える)。それが気孔のある「気孔群」です。気孔群の形はさまざまで、サワラはX型、アスナロでは葉裏のほぼ全面が白くなるなど、種を区別するための指標になります。この白色はワックスに由来するものですが、なぜ気孔群を覆うのかははっきりわかっていません。将来その役割が解明され、植物の生き残るためのしくみのひとつが明らかになることを期待しています。(前田綾子)



サクラの仲間の葉裏の電子顕微鏡写真



ヒノキの葉の裏の白い気孔群

身近な植物を  
知る

Vol.46  
Plants close to us

## フジツツジ

[ツツジ科]

*Rhododendron tosaense* Makino

春、里山をピンク色に彩るフジツツジ。県内では、丘陵地帯で普通にみられますが、意外にも四国の他県では少なく、香川県では確認されていません。本種は牧野博士が桑田山村(現須崎市)などで採集した標本をもとに、明治25(1892)年に和名を付け、明治37(1904)年に正式に新種として発表した植物です。高知県を代表するツツジの1種で、種小名のtosaenseは「土佐の」を意味しています。和名はその花色(藤色)から付けられていて、同じく県内の低山で普通にみられる「オン(雄)ツツジ」に対し、花が小さく、枝が細いことから「メン(雌)ツツジ」ともよばれます。

花には斑点模様があり、花の奥にある蜜を吸いにやってきた蝶の仲間は、模様のある中心にあるくぼみにストロー(口吻)を差し込みます。そのとき、ねばついて糸を引く花粉が蝶の体にくっつき、別の花に花粉を運んでもらい、受粉を行っています。

(田邊由紀)



花は直径2~3cmで小さい

Staff's recommendation

スタッフに聞く!  
植物園の見どころ Vol.46

広報課

小島可奈子のおすすめ

## 植物園で見ることが できる美術作品

展示館中庭、ここで頭を空にしてぼーっとする時間が好きで、自分にとっては癒しの時間となります。

ここには、生き生きとした植物とともに慎ましく存在する四角形の水盤があります。この中庭の風景は、牧野植物園の何気ない一風景ですが、美術作品の存在によってどこか不思議な空間にも感じられます。この水盤は現代美術家・田窪恭治氏の作品で、タイトルを「感覚細胞」といい、「死」をテーマにしています。

田窪氏は自身の表現の現場や仕事を「風景芸術」とよんでおり、この「感覚細胞」もその中のひとつです。氏がめざす「風景芸術」とは、「素直な生きかたをとおして視えてくる自然な風景との共存」「いつまでも新鮮さを失わない、「何も変わらない風景」をつくること」であると著書で語っています。私はこの言葉を読んで、はじめて中庭を見たときに感じた「完成された一体感」のようなものに納得がきました。

ぜひ、さまざまな縁で繋がった植物と美術作品が生み出す風景を味わってみてください。

